

4. 中部地整における建設ICT 導入普及の取り組み

建設ICT導入普及研究会 佐々木副会長
(中部地方整備局 企画部長)

1

建設ICT導入普及研究会* — 組織の構成

中部地方整備局では全国に先駆け、H20.11、産学官による研究会*を設立し、ICT技術の導入・普及を推進。
一連の建設生産プロセス(調査・設計・施工・維持・管理)においてICTを活用することで、効率化・高度化など生産性向上に取り組んでいる。

■組織の構成

会 長：中部地方整備局長
副会長：中部地方整備局企画部長

マネジメント委員会

第三者的立場から、導入技術の評価、研究会の運営評価を行う。

事務局

導入研究会の全体運営を行う。

プロジェクト会員

技術普及チーム

現場支援チーム

技術研究チーム

サテライト会員

会員総数 369者 (H24.1.27時点)

2

研究会における建設ICT推進体制(6WG – 8PT)

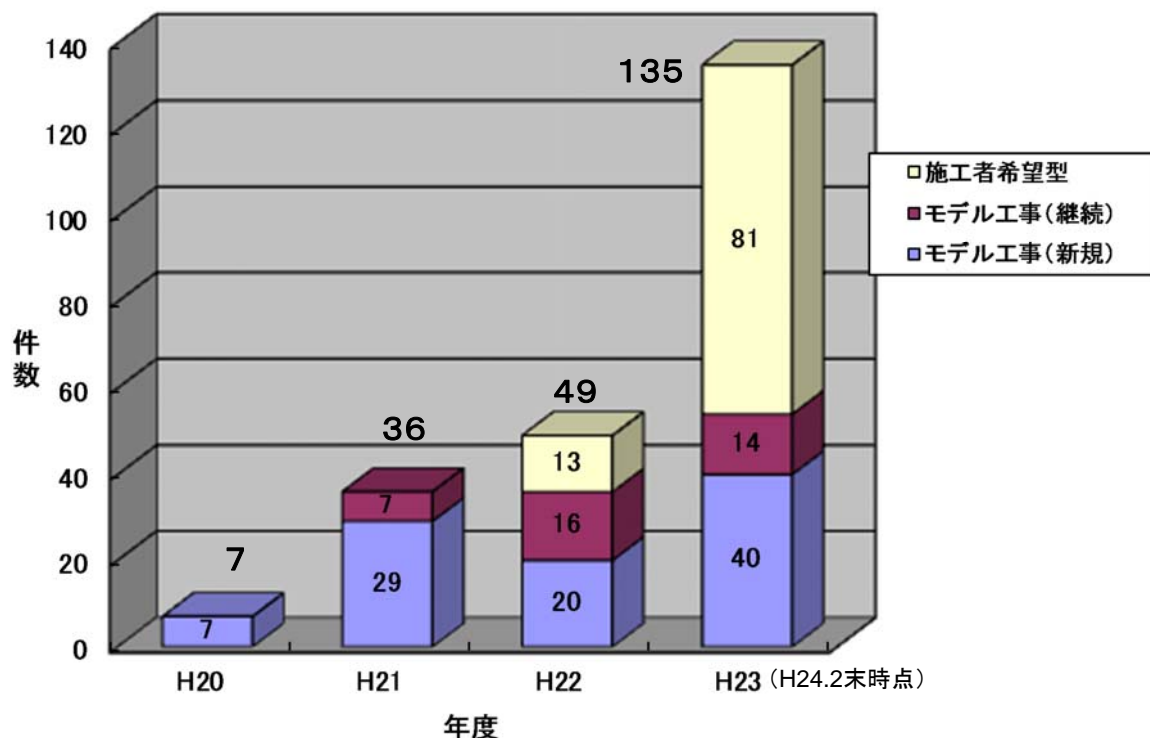
一方、個別課題に対しては、早期にICT技術の導入・普及を図るため、ワーキング体制(6WG – 8PT)を組織し、課題の解消等に重点的・計画的に取り組んでいる。

建設生産プロセス	ワーキング名	設置プロジェクトチーム(PT)名称と内容
調査	(全工程にわたるWGで実施)	—
設計	設計施工見直しWG	情報化施工データ活用検討PT: 3次元設計データ活用での検証。モデル業務の実施
施工	技術普及WG	技術普及活動PT: 現場見学会、セミナー等の計画・開催とICTサイトでの情報発信
		技術者育成PT: 技術者育成プログラムの検討・策定と同研修の実施
	現場支援検証WG	現場支援PT: モデル事業の適用技術導入支援
		モデル事業検証PT: モデル事業の現場の効果検討・検証
	監督検査・施工管理見直しWG	監督検査・施工管理見直しPT: ICTを活用した効率的・効果的な監督検査方法の検討・実施
情報一元化WG	情報共有システム効果実現PT: 情報共有システム(ASP)の活用による効率化検討・検証	
維持管理	(全工程にわたるWGで実施)	—
全工程	建設マネジメント研究WG	調査・計画・維持管理段階ICT導入技術検討PT: 導入可能性技術の検討

3

中部地方整備局の情報化施工活用工事数

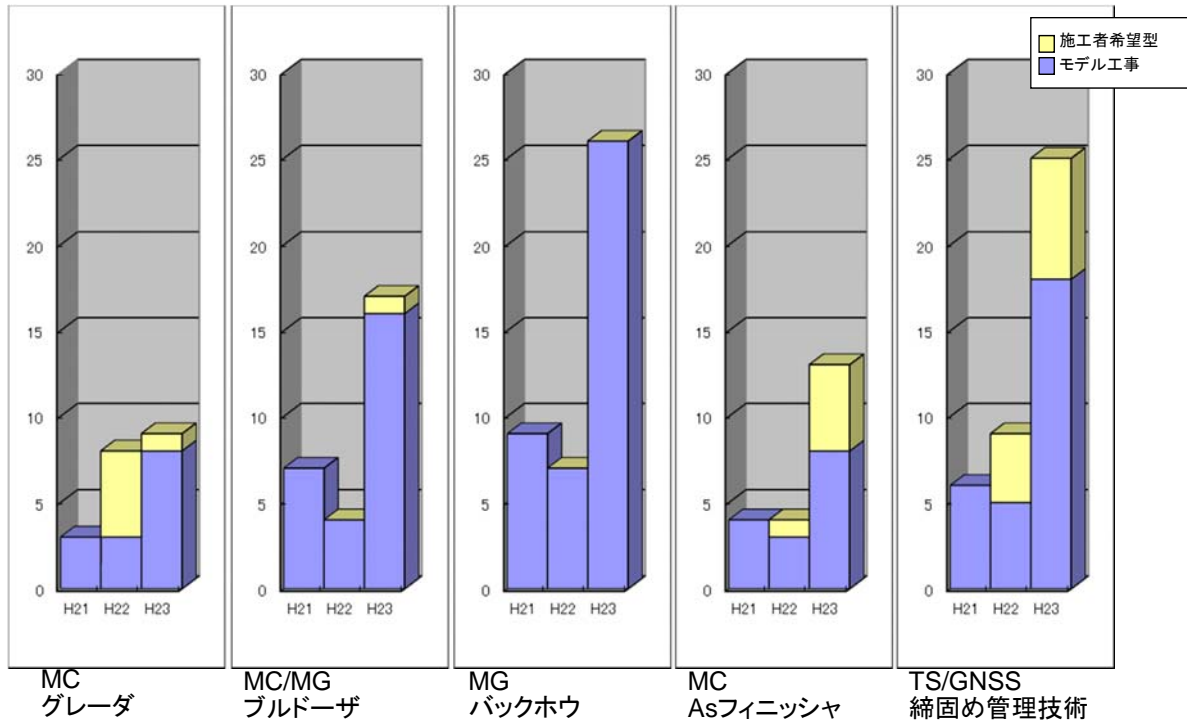
新規のモデル工事の増加に加え、TSによる出来形管理技術を中心に施工者の希望による活用工事が増加



4

中部地方整備局の情報化施工活用技術数

TSによる出来形管理技術以外では、モータグレーダのマシコン技術、ブルドーザのマシガイダンス技術、Asフィニッシャのマシコン技術、TS/GNSSによる締固め管理技術で施工者の希望による活用がみられる



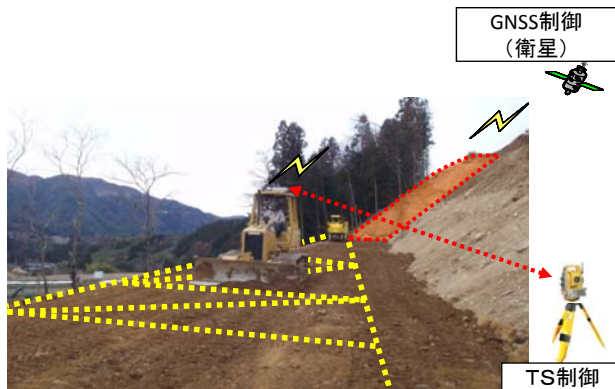
中部標準化

モデル工事等で
効果検証

標準的な活用

インセンティブで促進

一般化



土工への導入事例



舗装工への導入事例